

2. 月次コメント

9月につきましては、全体としましては、第7波の影響が残りつつも、月末には酒類のメーカー値上げを見込んだ駆け込み需要がありました。

業務用売上につきましては、前月よりも新型コロナウイルスの新規感染者が減少したこともあり回復傾向となりましたが、依然として客単価が伸びず、その結果、2019年3月期（コロナ前）に対する業務用売上高は同月比91.4%となりました。

一方、家庭用売上につきましては、第7波の影響による宅配需要に加えて、値上げ前の駆け込み需要を取り込めたことで2019年3月期（コロナ前）に対する家庭用売上高は同月比136.3%となりました。

以上の結果、2019年3月期に対する合計の売上高は同月比104.3%となりました。

【参考】 売上高（株式会社カクヤス単体） 前年同月比 （単位：％）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上期	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下期	通期
業務用	164.7	315.2	214.3	183.1	250.0	233.3	215.6								215.6
家庭用	95.7	88.1	92.1	94.1	88.4	106.4	94.0								94.0
合計	131.6	164.3	147.4	136.2	147.6	161.6	146.9								146.9

※1 カクヤス社は当グループ売上構成比のおよそ92%（2022年3月期）を占めております。

※2 （注記）

- 「業務用」とは、主に、居酒屋やレストランなどの業務用顧客コードを当社が付す料飲店、大手居酒屋チェーン店、その他の法人顧客のお客様からのご注文で発生する売上としております。
- 「家庭用」とは、「宅配売上」と「POS売上」を合わせた売上としております。
「宅配売上」…一般のご家庭やオフィス等（業務用向以外のお客様）からご注文を受け、配達することで発生する売上であります。
「POS売上」…各店舗にご来店頂いたお客様に、店頭のPOSレジを通して購入ことにより、発生する売上であります。
- 当該データは子会社「株式会社カクヤス」単体の速報値であり、財務上の正式データではありません。
また、決算確定前の数値によって算出しておりますので、確定後変更することがあります。

以上